

# JFEシビル 新工法多数採用のモデル 「埼玉アイスアリーナ」竣工

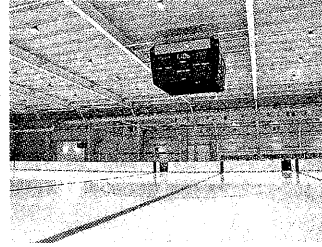
JFEシビル(社長・藤井善英氏)が建設していた「埼玉アイスアリーナ」が竣工した。同社の新工法・新技術が豊富に適用された次世代型のアイスアリーナで



テープカットする  
藤井社長(中央)

製品のモデルハウスとしての活用も検討する。同日オープニングセレモニーが開催され、藤井社長のほか上田清司埼玉県知事など約250人が出席した。

完成したアリーナの  
内観



アリーナは建築面積4680平方メートル、延べ床面積5296平方メートル。埼玉県初の国際規格の通年型アイスリンクで、同社のシステム建築「メタルビル」を採用。また、新タイプの高性能座屈拘束ブレース「J-UPPブレース」やPC腰壁、一柱一杭工法「キャップ式いちいち基礎工法」、柱と梁の接合部に斜材を加え耐震性能を向上させた「ニーブレース工法」など同社の独自の工法が豊富に適用された。

セレモニーではフィギュアスケート選手の浅田舞さんによるスケート教室やアイスショーなども行われ式典に華を添えた。上田県知事は「日本トップレベルのアイスアリーナが完成し心から喜んでくれる。素晴らしいこの施設を通じて埼玉や日本のスポーツが大きく飛躍してほしい」と祝辞を述べた。

# JFEシビル・名古屋

## システム建築受注額

# 今年度倍増の28億円へ 過去最高

JFEシビル名古屋支店(名古屋市西区、支店長・多田正氏)は、システム建築(メタルビル)の受注が伸びており、今年度(15年3月期)の売上額は昨年度比で約2倍の28億円と過去最高に達する見通しだ。今後も施主、設計事務所への設計織込み営業の推進で、システム建築の優位性をアピールし、中部地区における施工実績の上積みを狙う。

同社のシステム建築は基礎、柱、杭を一体化させた独自の「いちいち工法」の採用で基礎梁と杭本数を減らせる構造が特長。この工法により短工期化が図られ、基礎・鉄骨工事費低減を実現している。

大スパン建築が可能なほか、独自のフレーム接合形式により設計の自由度が高い。また、上部構造の軽量化で建屋への負荷を低減し、耐震性にも優れる。これまで同社では会員制スーパー、コストコ

中部空港店(愛知県常滑市、建屋面積1・4万平方メートル)など著名案件も手掛け、商業施設への展開を進めている。

やすいことや、大スパン建築でリニューアルやレイアウト変更がしやすいことなどが施主に高く評価され、今年度は建屋面積1千〜8

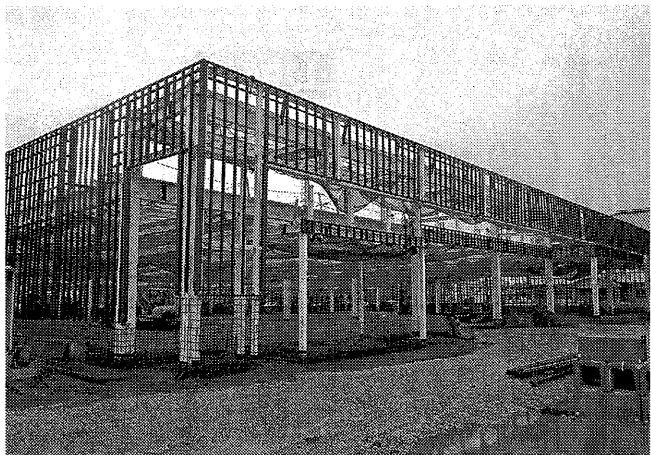
中部地区以外の物件を請け負っていた相乗効果で、販売エリアが急拡大しことも受注増に寄与した。

多田支店長は「これまで培った技術力とJFEグループの販売ネットワークを生かして、新たな用途への拡販を進めたい」としている。

同支店では数年前より施主、設計事務所などへの深耕開拓営業を強化。出展計画が立て

だ。営業先の設計事務所が東北、関東地区な

まで培った技術力とJFEグループの販売ネットワークを生かして、新たな用途への拡



メタルビルで建築中のパロー豊橋牟呂店